

小型発信機（みまもりタグ）で 徘徊見守りを



湖南市公明党議員団 ●うかい やち子 議員

問 市では、靴に装着できる小型発信機を使った高齢者や認知症患者の徘徊見守り活動を始めました。受信機の近くを通ると位置情報や通過時刻を記録し、送信されるシステムです。みまもりタグ、靴、受信機の設置状況は。

答 タグが届き次第、約60人の対象者に貸与の手続きを進めます。受信機は、郵便局・交番・コンビニ・介護保険事業所・薬局など、市内70カ所です。6月下旬から設置予定です。受信機130台のうち、残り60台の設置協力者の確保を進めます。

問 専用アプリを取り込んだスマートフォンでの市民のみまもりタグアプリの取り込み状況と、さらなる推進は。

答 アプリのダウンロードは、市職員、消防団、区長、民生児童委員、郵便や新聞配達

のかたなどの協力を求めています。しかし登録者は50人程度で、今後は市民への協力の呼びかけや、まちづくり協議会が実施する徘徊高齢者搜索訓練において、みまもりタグやアプリを活用し、登録者の増加につなげます。



靴に装着出来る小型発信機（みまもりタグ）

多胎妊婦の健診助成を

答 多胎妊婦やご家族のかたが精神的・経済的・肉体的にもできるだけ安心・安全な出産の日を迎えられるよう、多胎妊婦の妊婦健診助成を拡大していく方向で、具体的な実施方法を検討します。

高齢ドライバーの安全対策



湖南市公明党議員団 ●くわはらだ 美知子 議員

問 本市の免許証保有者の高齢者の割合は。

答 平成27年12月末現在、市内の免許証保有者の総数3万8438人のうち、65歳以上は7577人で、19.7%を占めています。

問 高齢者ドライバーによる交通事故件数は。

答 平成28年では、事故総件数202件のうち、高齢者ドライバーによる事故が27件で割合は13.4%となっています。

問 自主返納者数の推移と市民の反響は。

答 自主返納支援事業を始めた平成22年度の25人と平成28年度の67人と比べると2倍以上となっています。事業への反響につきましては、「めぐるくん」の回数券を一冊交付するだけであることから、利便性への不安などのご意見を聞いています。

問 私たち市民が高齢者ドライバーに対してできることは。

答 新たな地域の公共交通手段の構築も協議しますが、高齢者ドライバーに関わる様々な問題は、地域の問題としても捉える必要があります。まちづくり協議会などと連携しながら、地域独自交通の確立に取り組み考えです。



高齢ドライバーの事故多発!!

その他

○災害時に子どもたちの命を守ろう!

○不要な携帯の回収で五輪メダルの製作に参加しよう!

を質問しました。